

KDplug_in for DocuWorks

DocuWorks プラグイン製品

KCS カーネルコンピュータシステム

本社：パッケージ販売部
〒221-0056

横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル 6F

TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501

URL：<https://www.kernelcomputer.co.jp>

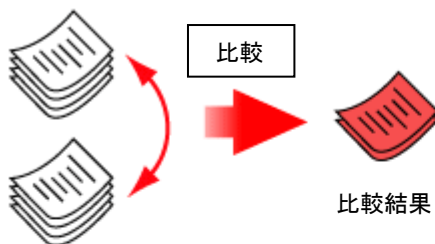
処理概要

「KDplug_in for DocuWorks」は電子書庫である DocuWorks がインストールされている環境において DocuWorks Desk のプラグインとして利用可能なユーティリティソフトウェアです。

DocuWorks Desk 上で新旧 2 つのデータの比較、さまざまなフォーマットデータ（プリント・プロット・CAD・イメージ）の取り込み、バーコード合成、イメージ出力を行います。

比較機能

2 つのデータを比較し、
差分検出を行います。

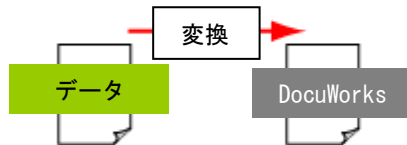


プラグイン機能
として追加



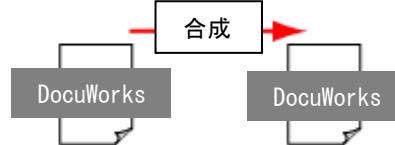
データ取り込み機能

各種フォーマットデータ（HP-GL、HP-GL2、
イメージなど）を DocuWorks へ変換します。



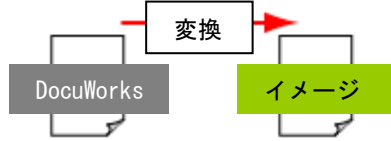
バーコード合成機能

DocuWorks 文書にバーコード（QR コード、
CODE39 など）を合成します。



イメージ出力機能

DocuWorks 文書にイメージデータ（TIFF、
JPEG、BMP など）へ変換します。



KDplug_in for DocuWorks について

[比較機能]

DocuWorks Desk 上の 2 つのファイルと比較し、差分を表示します。差分情報（差分の有無、個数）をテキストファイルや XDW ファイルに出力することが可能で差分の検出が容易におこなえます。マルチページデータの比較に対応しています。

◆対応データ形式

XDW, XBD, PDF

※ PDF の比較には DocuWorks 8 以降が必要です

[データ取り込み機能]

PLOT データの業界標準である HP-GL, HP-GL/2、プリント板業界で利用される GERBER データ、CAD データ (DXF, DWG)、OFI、幅広く利用されているイメージデータ (TIFF, JPEG, BMP, CALS 等) の読み込み、保存が可能です。データ取り込み後は DocuWorks の機能を利用して編集が可能です。

※ベクター系データを処理する場合、ラスターデータに変換して処理を行い出力します。

出力の設定をカラーにすると、ファイル容量が大きく、処理時間も増大しますので、カラーデータにする必要がない場合はすべて黒色(モノクロ)にすることをお勧めします。モノクロ化(2 値)にすることによってファイル容量を小さく、処理時間を短縮することができます。

[イメージ出力機能]

DocuWorks ファイルをイメージフォーマットへ出力します。60 種類以上のイメージフォーマット形式をサポートしています。モノクロ/カラー出力の設定、スケーリング、解像度指定、マルチページ化等の指定が可能です。

[バーコード合成機能]

XDW ファイルにバーコード (CODE39, CODE128, PDF417, QR_CODE 等) をアノテーション合成して出力します。

※合成が可能なバーコードの種類

名称	内容
QR (MICROQR_CODE)	QR コード (2 次元)。型番は任意。
JAN13, EAN13	JAN および EAN コードのうち、13 桁のもの。
JAN8, EAN8	JAN および EAN コードのうち、8 桁のもの。
ITF	ITF。桁数は任意。
NW-7	NW-7。桁数は任意。
CODE39	Code39。桁数は任意。
CODE128	すべての Code128。桁数は任意。
GS1-128	Code128 のうち、GS1-128 (旧称 : UCC/EAN128) 規格に適合するもの。
CUSTOMER	郵便カスタマバーコード。
DATAMATRIX	DataMatrix コード (2 次元) ECC2000 のみサポート
PDF417 (MICROPDF417)	PDF417 コード (2 次元)
MAXICODE	MaxiCode コード (2 次元)
CONVENI_BAR	コンビニバーコード
GS1 DataBar	GS1 DataBar (旧称 : RSS) バーコード
MEDICALMATERIAL	医療資材商品バーコード
GS1 合成シンボル	GS1 合成シンボル (旧称 : EAN, UCC 合成シンボル)

KDplug_in アイコンの見方

「KDplug_in for DocuWorks」をインストールしてツール設定を行うと、DocuWorks Desk のメニューバーに4つのプラグインアイコンが表示されます。「KDplug_in for DocuWorks」では機能ごとに4つのプラグインに分かれています。



【比較機能アイコン】

XDW ファイルを比較する場合にはこのアイコンを使用します。
詳細については「[比較機能](#)」を参照してください。



【データ取り込み機能アイコン】

KDplug_in for DocuWorks を利用して各種データを取り込む場合にはすべてこのアイコンを使用します。
詳細については「[データ取り込み機能](#)」を参照してください。



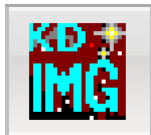
【バーコード合成機能アイコン】

XDW ファイルにバーコード合成する場合にはこのアイコンを使用します。
詳細については「[バーコード合成機能](#)」を参照してください。



【イメージ出力機能アイコン】

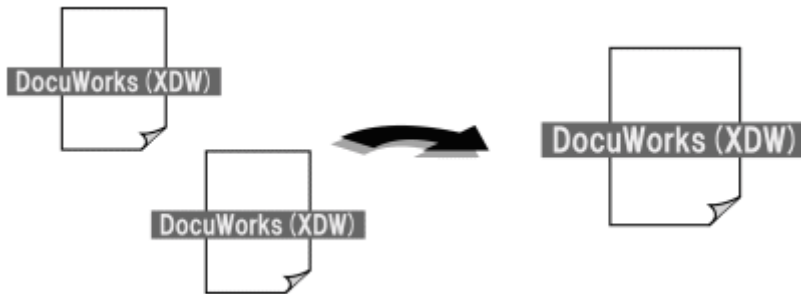
XDW ファイルをイメージデータ (ラスター/PostScript/PDF/HP-RTL/SVG) へ出力する場合にはこのアイコンを使用します。詳細については「[イメージ出力機能](#)」を参照ください。



比較機能（ファイルの比較）

ここでは例を挙げて KDplug_in for DocuWorks の比較機能の使用方法を説明します。

◆ファイルを比較する



(1) DocuWorks Desk を起動します。

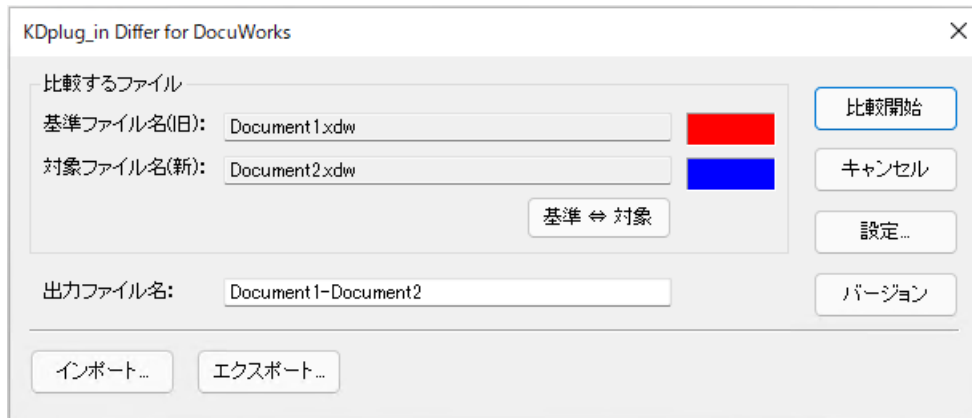
DocuWorks Desk ダイアログに表示されているファイルを **2 ファイル** 選択します。
2 ファイル選択した状態 (DocuWorks 文書の周りが青で縁取りされている状態) で
KDplug_in for DocuWorks 比較機能アイコンをクリックします。
クリックすると比較ファイル設定ダイアログが表示されます。

手順 1.
比較するファイルを 2 つ選択します。

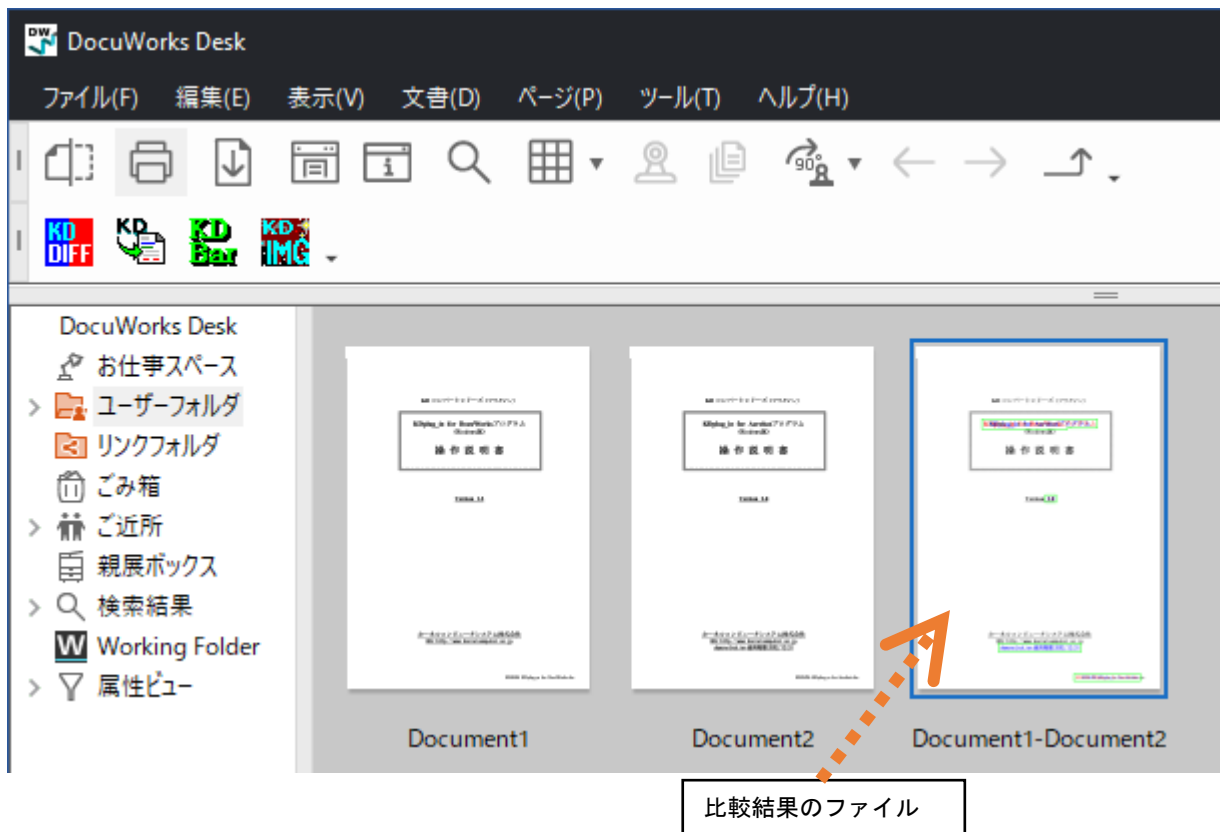
手順 2.
比較機能アイコンを選択します。

※キーボードの「Ctrl」、「Shift」ボタンを押しながらファイルをクリックすると 2 ファイル (複数) 選択することができます。
マウスの左ボタンを押しながら指定範囲内に表示ファイルを入れることにより、2 ファイル (複数) 選択することができます。

- (2) 「基準ファイル名(旧)」、「対象ファイル名(新)」に選択した XDW ファイル名が表示されます。
「出力ファイル名」には選択した 2 つのファイルをつなげたファイル名が表示されます。



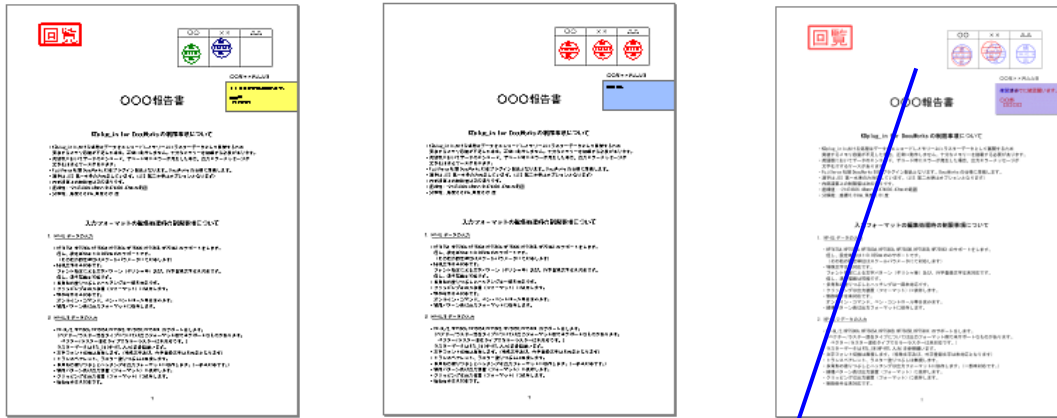
- (3) 「比較開始」ボタンをクリックすると変換を開始し、進捗表示画面が表示されます。
- (4) 進捗表示画面が閉じれば変換は終了です。
変換が成功すれば DocuWorks Desk に比較結果を表示したファイルが作成されます。



比較機能のサンプル

◆サンプル①(アノテーション (印鑑、日付印、付箋、スタンプなど) の比較)

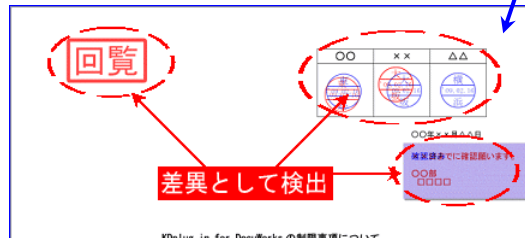
DocuWorks ファイルに追加されたアノテーションを比較することができます。



対象ファイル (A)

対象ファイル (B)

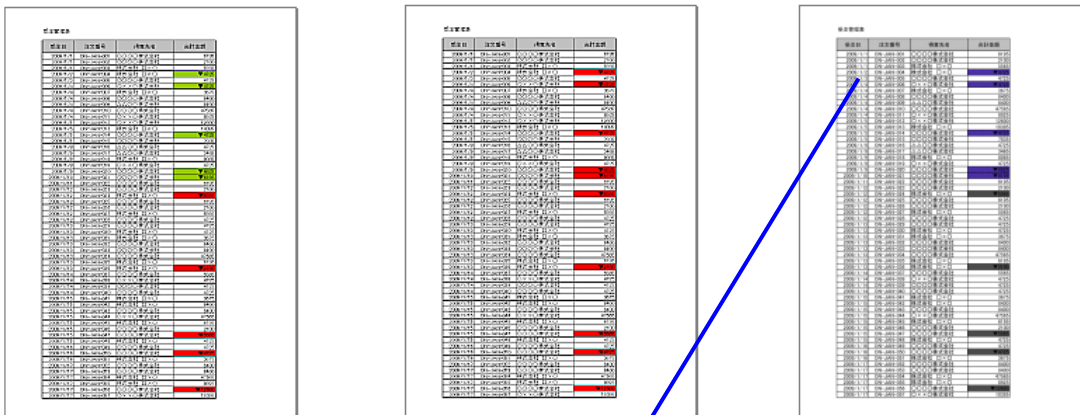
比較結果



比較結果の詳細図

◆サンプル②(色の違いを比較)

比較対象ファイルの色の違いを検出することができます。



対象ファイル (A)

対象ファイル (B)

比較結果

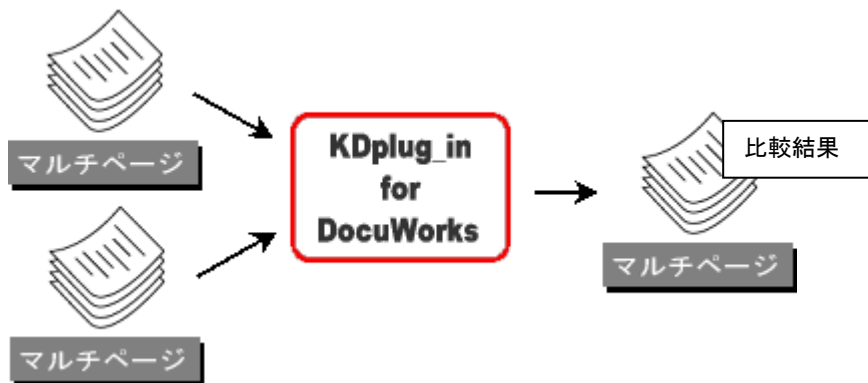
差異として検出

受注日	注文番号	得意先名	金額
2023/1/1	DNV-JAN-001	〇〇〇〇株式会社	5555
2023/1/1	DNV-JAN-002	〇〇〇〇株式会社	4123
2023/1/1	DNV-JAN-003	株式会社 × × ×	4123
2023/1/2	DNV-JAN-004	株式会社 × × ×	4123
2023/1/2	DNV-JAN-005	〇〇〇〇株式会社	3912
2023/1/4	DNV-JAN-006	〇 × × × 株式会社	3440
2023/1/4	DNV-JAN-007	株式会社 × × ×	42562
2023/1/4	DNV-JAN-008	〇 × × × 株式会社	3902
2023/1/4	DNV-JAN-009	〇 × × × 株式会社	12000
2023/1/4	DNV-JAN-010	〇 × × × 株式会社	11000
2023/1/4	DNV-JAN-011	〇 × × × 株式会社	3666
2023/1/4	DNV-JAN-012	〇 × × × 株式会社	3666
2023/1/4	DNV-JAN-013	株式会社 × × ×	3666
2023/1/4	DNV-JAN-014	〇〇〇〇株式会社	3666

比較結果の詳細図

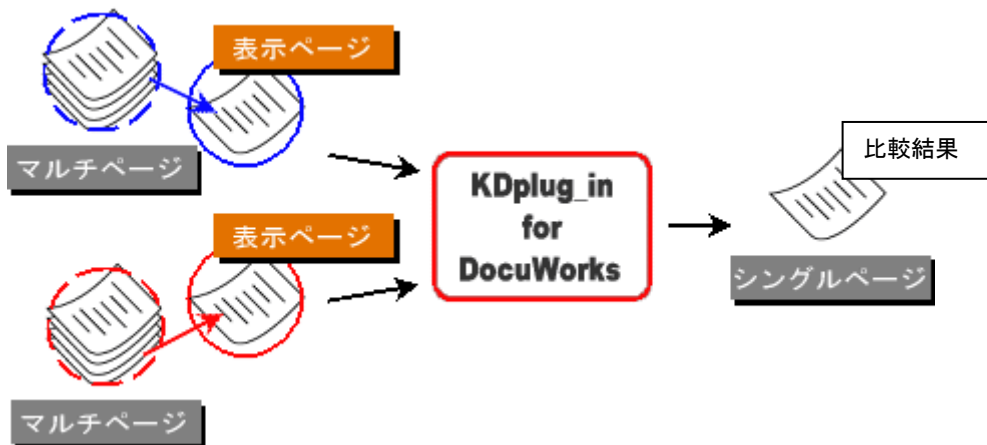
◆サンプル③(マルチページ文書同士の比較)

マルチページファイル比較に対応しています。



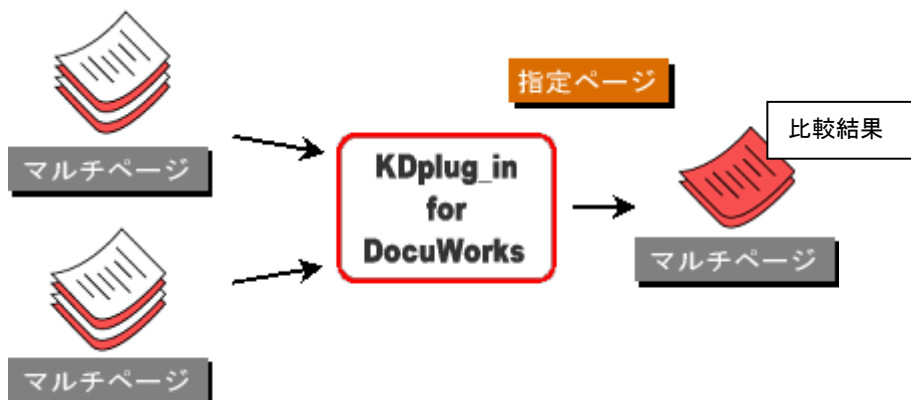
◆サンプル④(表示ページを抽出して比較)

マルチページファイルから DocuWorks Desk 上で表示しているページを抽出して比較することができます。



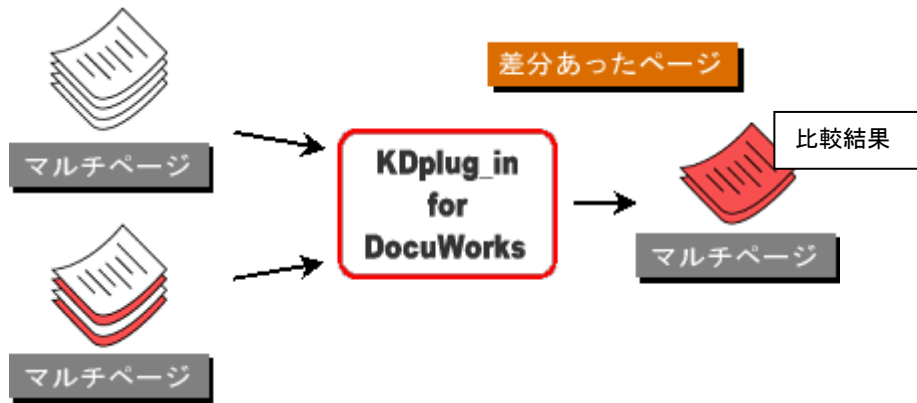
◆サンプル⑤(指定ページのみ比較)

比較を行う2つのファイルから比較処理するページを指定することができます。(例: 2, 4 など)



◆サンプル⑥(差分のあったページのみ出力)

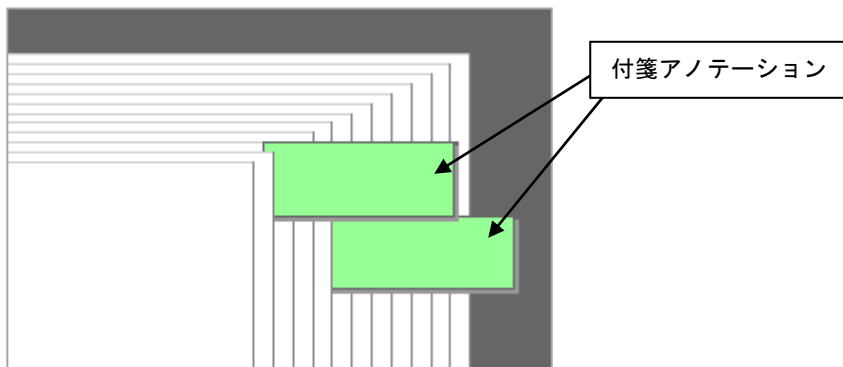
比較を行う2つのファイルから差分のあったページのみ出力することができます。



◆サンプル⑦(差分のあったページに付箋を貼る)

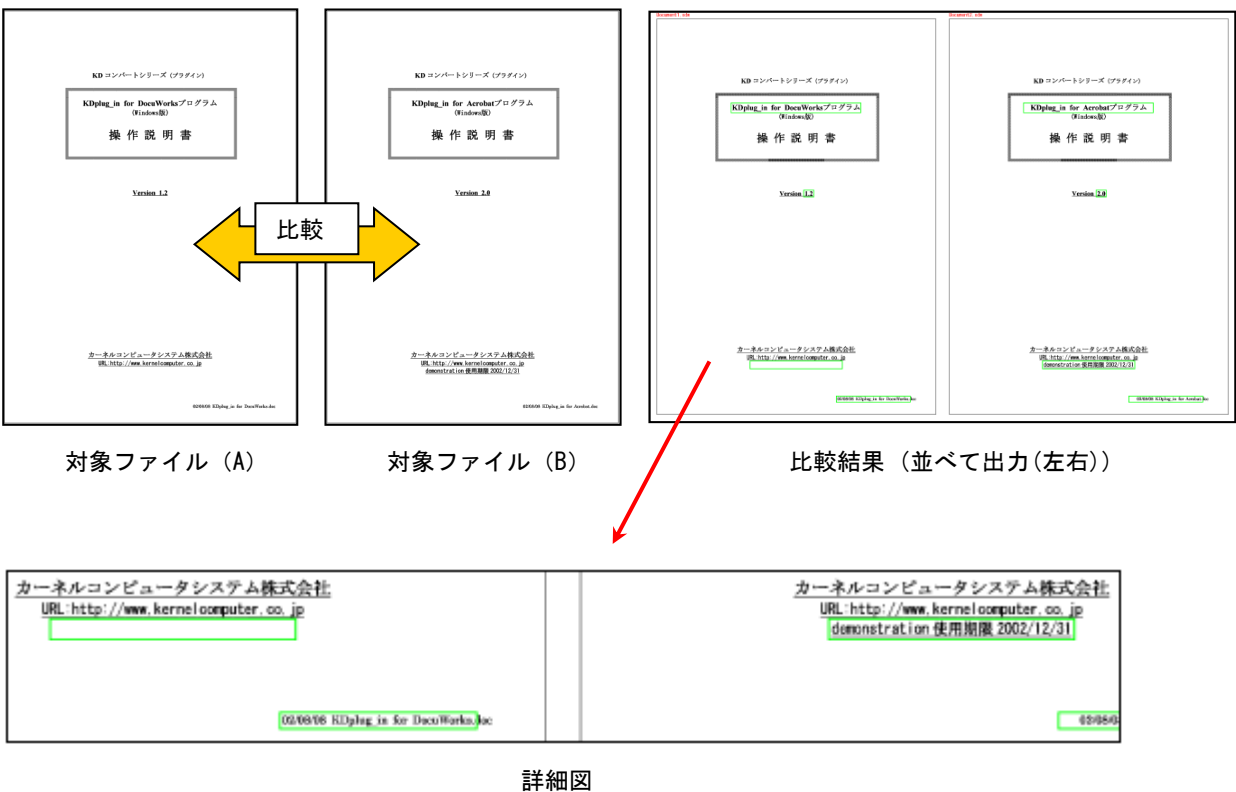
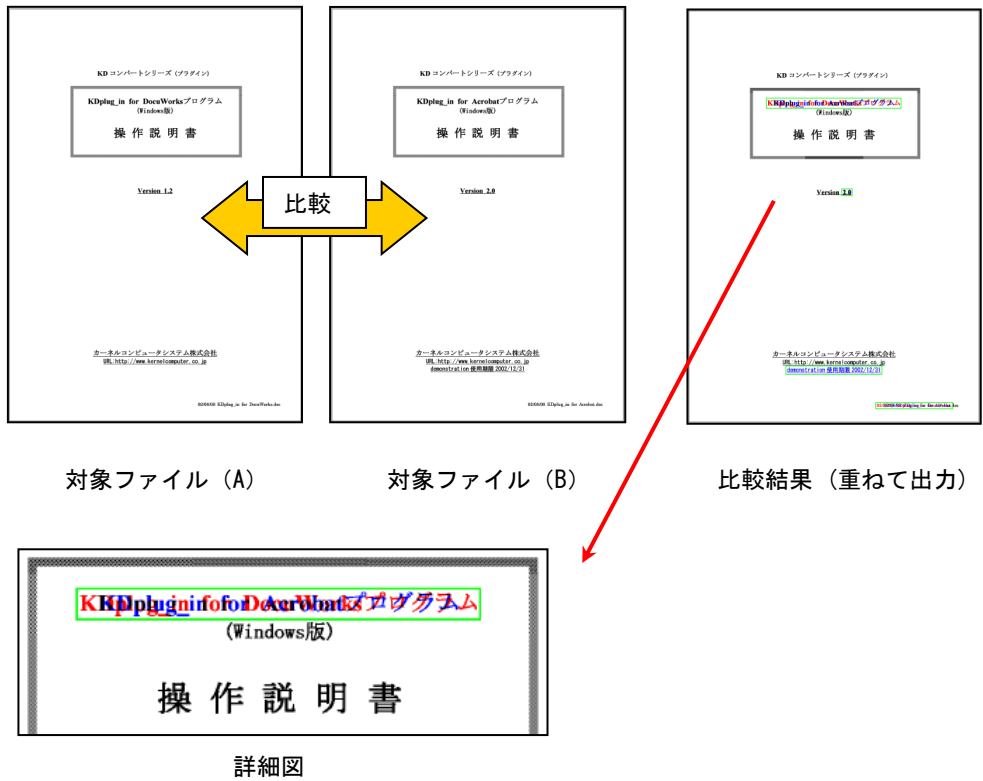
差分のあったページに付箋アノテーションを貼り付けることができます。
ページ数の多いファイル同士を比較した際に、差分のあったページを見つけやすくなります。

<結果ファイル>



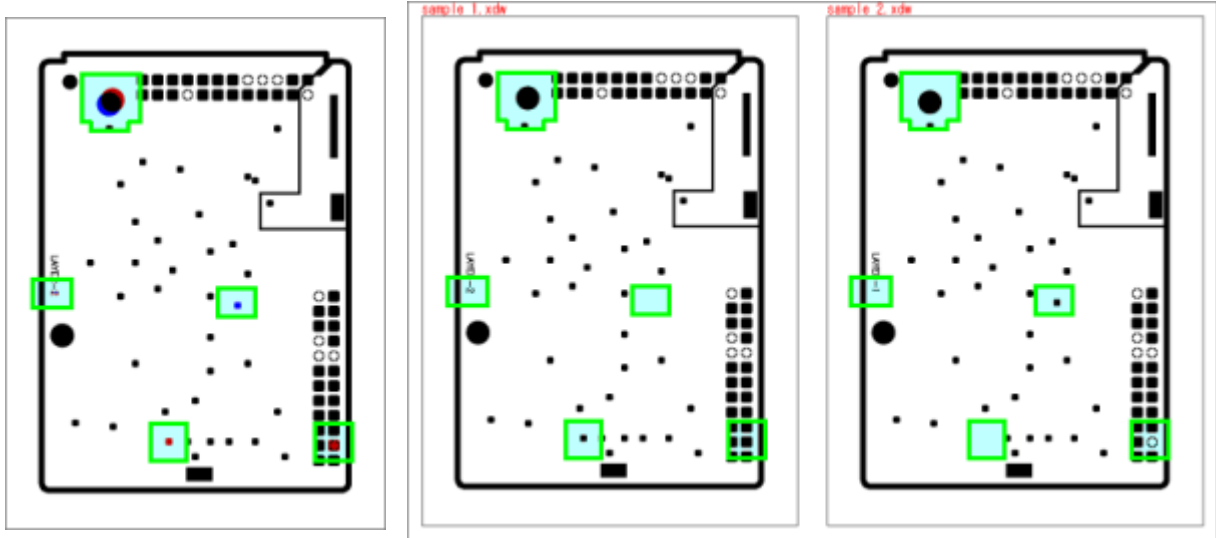
◆サンプル⑧(比較結果の出力レイアウト)

比較結果の出力レイアウトを指定することができます。(1. 重ねて出力 2. 並べて出力(左右、上下))



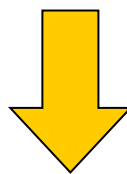
◆サンプル⑨(差異枠をアノテーションとして出力する)

比較結果の差異枠をアノテーションとして出力することができます。
アノテーションにすることで、『DocuWorks Viewer』上から差異枠を編集することができます。

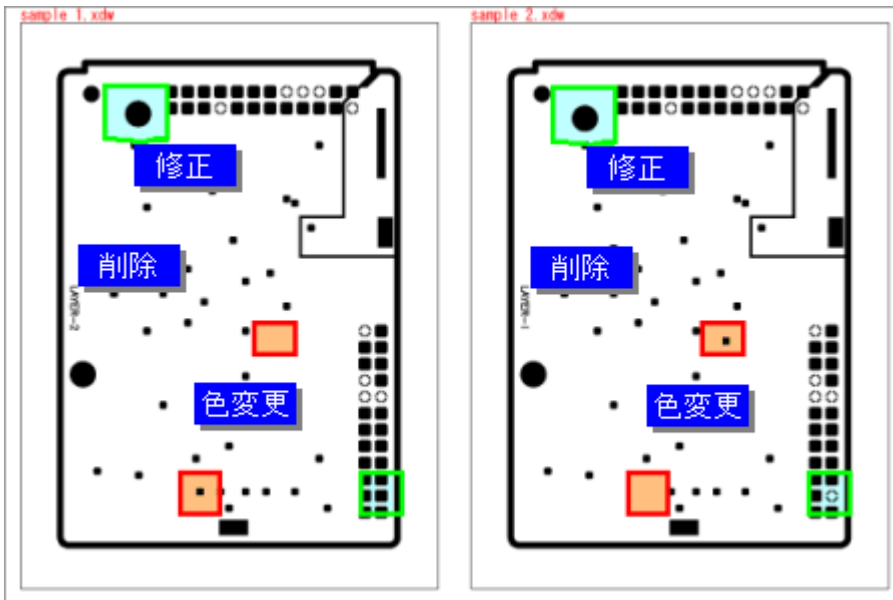


比較結果ファイル
<出力形式：重ねて出力する>

比較結果ファイル
<出力形式：並べて出力する>



編集内容
(例)
・枠の修正、削除
・色変更

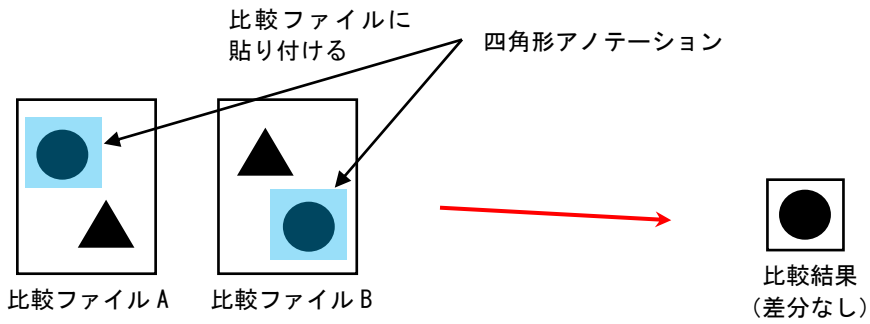


差異枠の編集結果

◆サンプル⑩(領域を指定して比較する)

領域を指定して、指定された部分だけを比較することができます。
比較する領域の指定方法は、座標（開始位置 X, Y と幅高さ）による指定と、DocuWorks の四角形アノテーションによる指定があります。

(例) 四角形アノテーションによる指定の場合



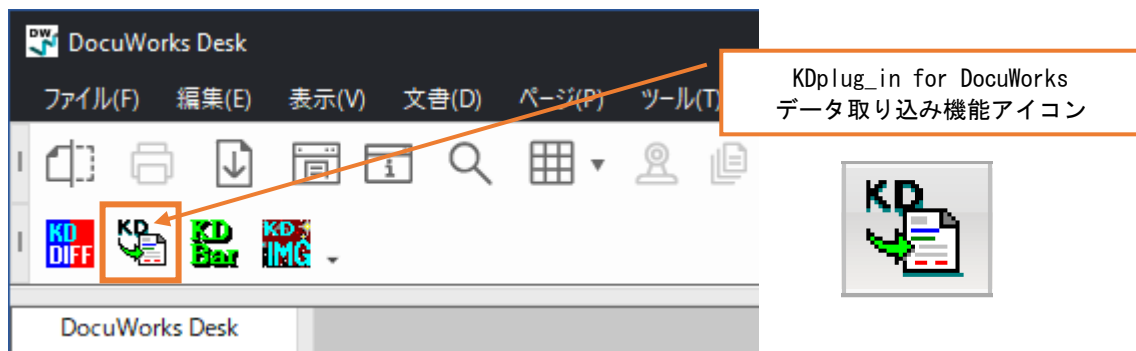
データ取り込み機能

ここでは例を挙げてデータの取り込み方法を説明します。

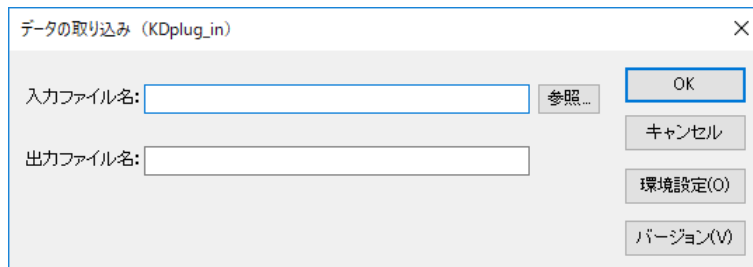
[新規にファイルを取り込む]



- (1) DocuWorks Desk を起動して「KDplug_in for DocuWorks」のアイコンをクリックします。クリックすると入出力ファイル設定ダイアログが表示されます。

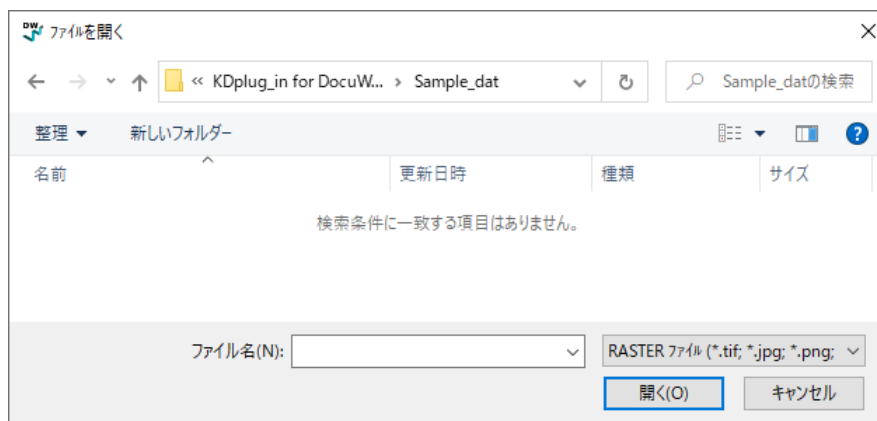


<DocuWorks Desk 画面>



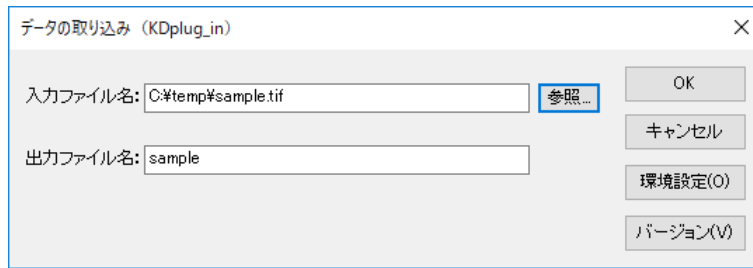
<データの取り込みダイアログ>

- (2) 「入力ファイル名」横の「参照」ボタンをクリックすると変換ファイルを選択するダイアログが表示されます。



<ファイル選択ダイアログ>

- (3) 「入力ファイル名」ボックスに選択したファイルが表示されます。
「出力ファイル名」は入力ファイル名を元に自動的に設定されます。



- (4) 「OK」ボタンをクリックすると変換を開始します。

処理中はカーソルが**待ち状態**で表示されます。

(注) ベクターデータからの変換では図面サイズや図面の複雑さによって、表示するまでに時間がかかることがあります。

ベクターデータをすべてラスターデータに変換して、DocuWorks データとして登録するので、カラーデータにすると、ファイル容量が大きく、処理時間が多くかかります。カラーデータにする必要がない場合はカラー出力を行わない選択(モノクロ出力)をすることによってファイル容量を小さく、処理時間を短縮することができます。

- (5) カーソルが矢印に戻り、「データの取り込み」ダイアログが閉じれば変換は終了です。
変換が成功すれば DocuWorks Desk の「ユーザーフォルダ」に DocuWorks ファイルが作成されます。



バーコード合成機能

ここでは例を挙げて KDplug_in for DocuWorks のバーコード合成出力機能の使用方法を説明します。

◆XDW データにバーコードを合成、出力する



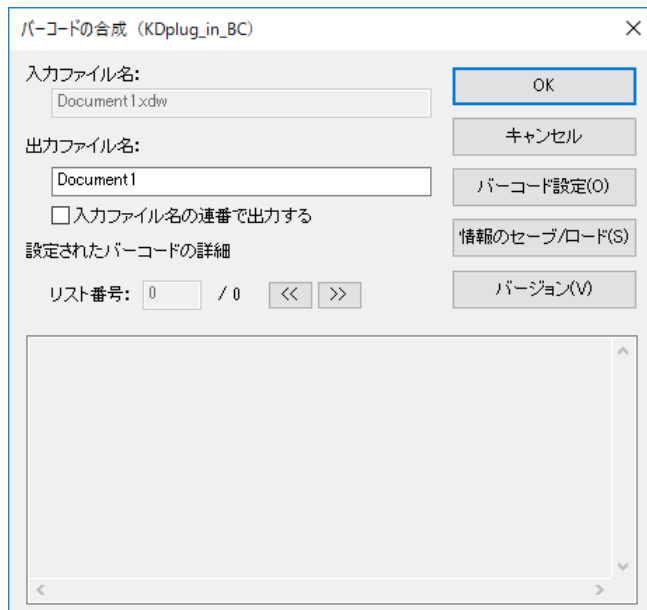
(1) DocuWorks Desk を起動します。

DocuWorks Desk ダイアログに表示されているファイルを 1 ファイル選択します。
1 ファイル選択した状態 (DocuWorks 文書の周りが青で縁取りされている状態) で
KDplug_in for DocuWorks バーコード合成出力機能アイコンをクリックします。



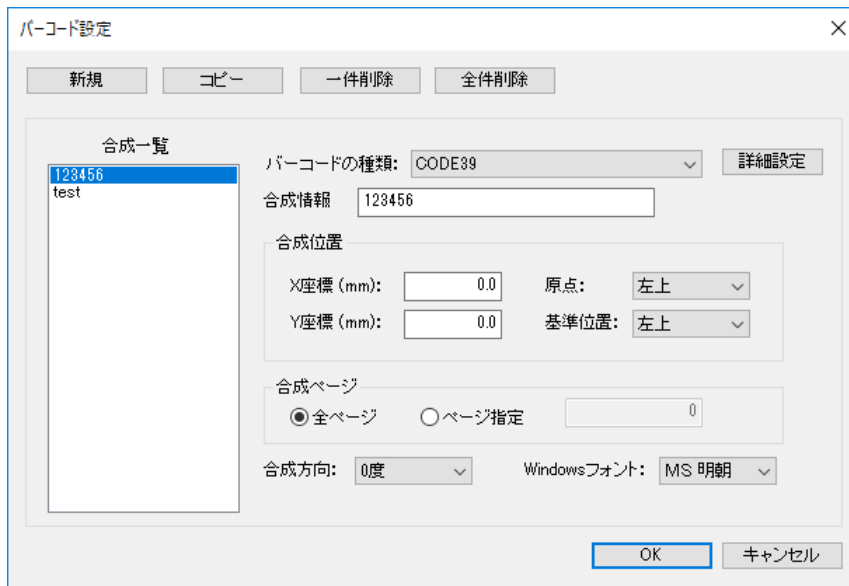
<DocuWorks Desk 画面>

(2) クリックするとバーコード合成設定ダイアログが表示されます。



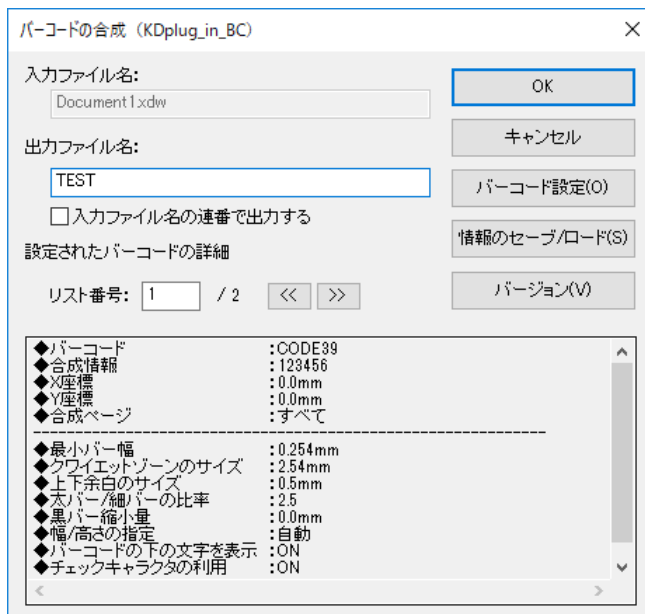
<バーコードの合成ダイアログ>

(3) バーコード設定ボタンをクリックして、入力データに合成を行う要素を設定します。

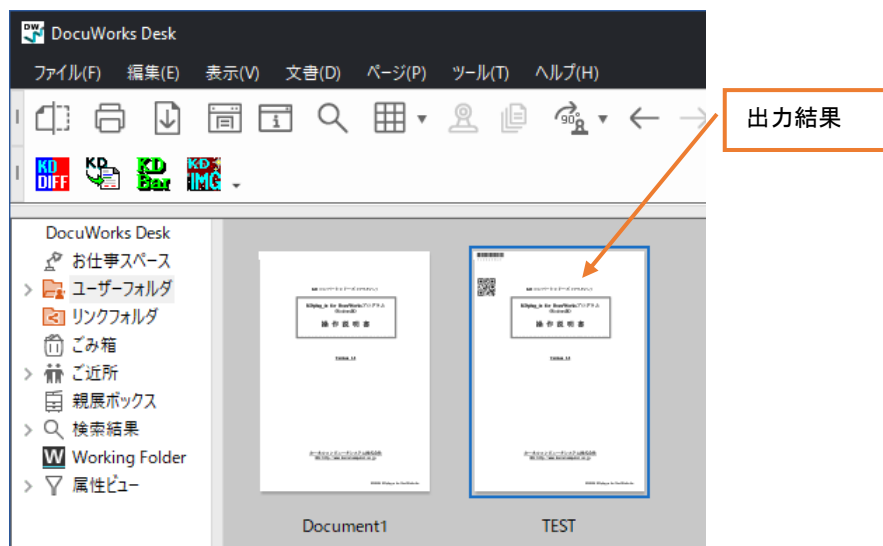


<バーコード設定ダイアログ>

(4) 生成可能なバーコードが登録され、OK ボタンをクリックすると処理を開始します。







(5) バーコード合成が成功すれば、出力先に XDW ファイルが作成されます。



<DocuWorks Desk ダイアログ>

バーコード合成機能のサンプル

<作成結果のサンプル>

バーコード	作成日	データ	備考
 *012345678901*	09/02/01	0123456789	CODE19
 *12345678902*	09/02/01	1234567890	CODE19
	09/02/10	http://www.kernelcomputer.co.jp/	QRコード
	09/02/10	カーネルコンピュータシステム	QRコード

・登録されたバーコードの内容をアノテーションとして出力します。

 *12345678902*	09/02/10		
	09/02/10	http://www.kernelcomputer.co.jp/	QRコード
	09/02/10	カーネルコンピュータシステム	QRコード

アノテーション

任意の位置へ移動可能です。

バーコードはアノテーションとして作成され、任意の位置へ移動可能です。

DocuWorks Viewer での作業例

イメージ出力機能

ここでは例を挙げて KDplug_in for DocuWorks のイメージ出力機能の使用方法を説明します。

◆XDW データをイメージファイルへ出力する

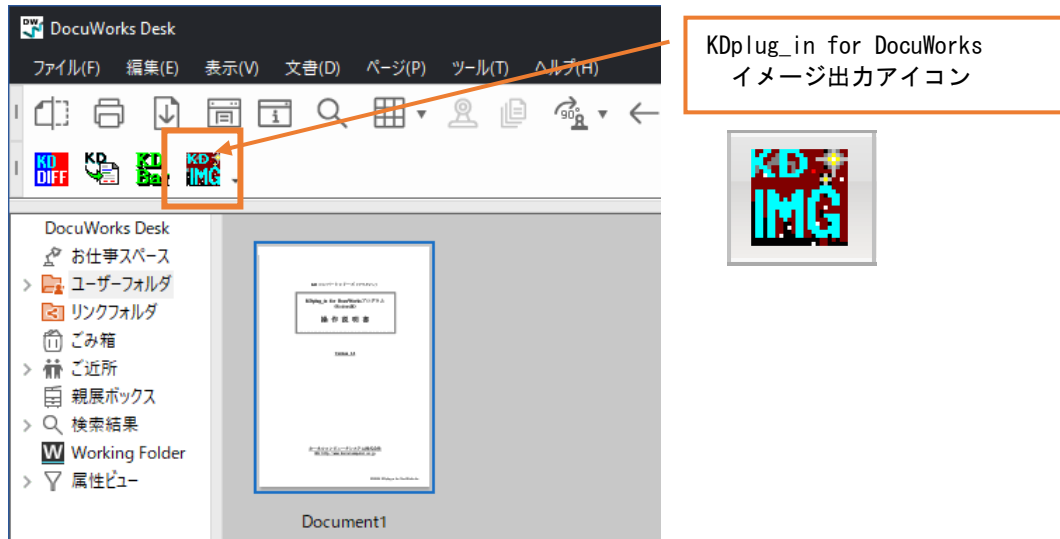


(1) DocuWorks Desk を起動します。

DocuWorks Desk ダイアログに表示されているファイルを 1 つ選択します。

その状態 (DocuWorks 文書の周りが青で縁取りされている状態) で KDplug_in for DocuWorks イメージ出力機能アイコンをクリックします。

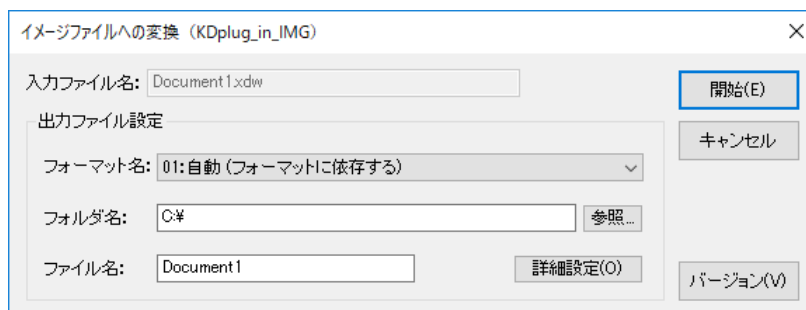
クリックするとイメージファイルへの変換ダイアログが表示されます。



<DocuWorks Desk 画面>

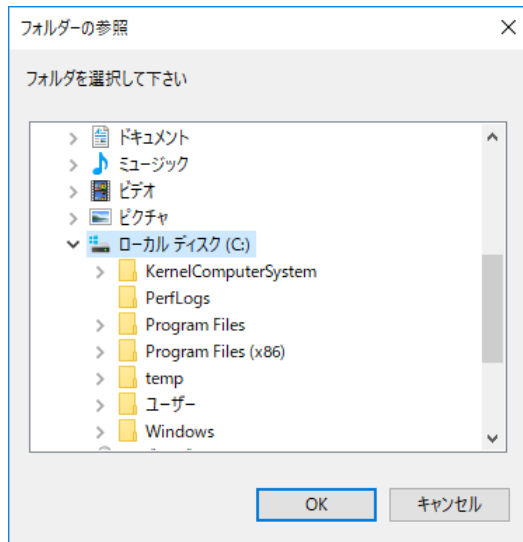
(2) 「入力ファイル名」に選択した XDW ファイル名が表示されます。

出力ファイル設定の「ファイル名」には入力ファイル名を元に自動的に設定されます。



<イメージファイルへの変換ダイアログ>

「出力ファイル設定 -> フォルダ名」横の「参照」ボタンをクリックすると保存先のフォルダを選択するダイアログが表示されます。



<フォルダの参照ダイアログ>

- (3) 「フォルダ名」、「ファイル名」を設定後「開始」ボタンをクリックすると変換を開始します。
処理中はカーソルが**待ち状態**で表示されます。
(注) アプリケーション文書からの変換では図面サイズや図面の複雑さによって、表示するまでに時間がかかることがあります。
カラーデータにすると、ファイル容量が大きく、処理時間もかかりますので、カラーデータにする必要がない場合はモノクロデータにするとファイル容量が小さく、処理時間もかかりません。
- (4) カーソルが矢印に戻り、「イメージファイルへの変換」ダイアログが閉じれば変換は終了です。
変換が成功すれば「出力ファイル設定」で指定した出力先にイメージファイルが作成されます。

作成可能なバーコード一覧

> CODE39

信頼性が高いシンボルであることから、主に産業分野の作業指示票や現品ラベルに使用されています。



> JAN8/JAN13

世界共通コードで生活用品のほぼ全てにマーキングされています。
(書籍、雑誌業界、家電業界、アパレル業界などでも利用されています)



> GS1-128

GS1-128 は共通商品コード(JAN、EAN、UPC)を補足するコードで、商品の製造年月日や製造ロット番号、出荷コンテナ番号などの商品関連情報や物流関連情報を追加、補足するためのコードです。各業界で利用され始めています。



> QR_CODE (MICROQR_CODE)

日本で多く普及している2次元コードで、大容量データ、読み取りの高速化などに対応しています。一部が汚損して読み取れなくてもデータを復元することができます。



> PDF417 (MICROPDF417)

PDF417 バーコードは高い情報量とエラー訂正機能を持つ複数行の可変長のコードです。各業界で利用され始めています。



> DATAMATRIX

大量のデータエンコードに使用される2次元の可変長コードです。それぞれのバーコードは、独特の形で並んだ複数のデータセルで構成されています。最大、データエリアの60%が損傷した場合でも適切に読み取ることができます。



> NW-7

血液銀行、宅配便の伝票、DPE、図書館の貸し出し管理などで利用されています。



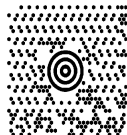
> ITF

標準物流コードとして、JIS化されています。



> MAXICODE

高速による360度の読み取りを実現しています。



> CODE128

アスキーコード128文字(数字、アルファベット大文字/小文字、記号、制御コード)全てをバーコード化することができます。
([ESC], [STX], [ETX], [CR], [LF]などの制御コードもコード化できます)



動作環境

【対応 OS】

- Windows 10 [32bit/64bit]
- Windows 11

- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Windows Server 2022
- Windows Server 2025

【対応 DocuWorks】

- DocuWorks 7
- DocuWorks 8 (※8.0.3 を除く)
- DocuWorks 9
- DocuWorks 9.1
- DocuWorks 10

※動作環境は、富士フイルムビジネスイノベーション社製品 DocuWorks の動作環境に準じます。

標準価格

KDplug_in for DocuWorks

販売価格 : ¥150,000 (税抜き) / 5 ライセンス